



助産師レター

滋賀県看護協会助産師職能委員 VOL. 26 平成 26 年 8 月

晩夏の候、皆様にはいっそうご活躍のことと思います。まだまだ、暑い日が続きますので体調管理には十分に気を付けていきましょう。

今年度も、このニュースレターで様々な情報を発信していきますので、活用していただきたいと思います。

今年度の職能委員会活動内容

- ◆ 助産師の能力開発に関する活動
助産師のキャリアパス・ラダー運用評価に向けた普及活動
- ◆ 助産師出向支援モデル事業活動
助産師出向モデル実施とガイドライン作成協力
- ◆ 助産師に関する情報発信
助産師レターの発行
助産師情報ネットワークの整備と活用
- ◆ 公益に貢献する活動
妊産婦タクシー乗務員講習及び研修評価に関する活動

日本看護協会からの情報を、滋賀県看護協会へ繋げて広めていけるように活動していきたいと思います。

助産師出向支援モデル事業

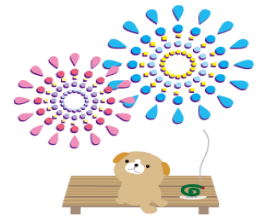
平成 25 年度より助産師の就業先偏在是正及び助産学生の実習施設確保、助産実践能力強化支援等を目的に、厚労省の看護職員確保対策特別事業として「助産師出向支援モデル事業」(日本看護協会委託事業)が展開されました。滋賀県看護協会は 1 モデル県として、出向先・出向元施設の募集・マッチングまでのプロセスを経て、大津市民病院から野村病院へ 6 ヶ月間・週 2 日の出向を 8 月 2 日より開始しました。

各モデル県の事例を基に助産師出向支援ガイドライン(確定版)が作成される事になります。いずれ、県の事業として引き継がれるよう協力していきたいと考えています。助産師職能集会では、この事業の詳細な内容を報告する予定にしています。是非、お楽しみに。(委員長 梅本範子)

助産師出向システム推進シンポジウム

平成 26 年 8 月 2 日(土) 青山ダイヤモンドホール

日本全国から助産師だけでなく、行政担当者や出向元・出向先の事務関係の方など他職種にわたり多くの参加がありました。助産師出向システムは助産師の就業先の偏在是正のためモデル事業として平成 25 年度より滋賀県内でも行われています。助産師の実践能力向上、安全な出産環境の整備といった点において必要とされるシステムなので来年度以降も継続されること、出向システム活用施設が増えていくことが望まれます。多くの課題はありますが少しでも助産師の就業先の偏在が是正され、妊婦さんにとってどの施設においても安心安全な出産環境が整備されることが目標です。(委員 前川孝枝)



平成 26 年度新人助産師合同研修

平成 26 年 7 月 1 1 日(金)

滋賀医科大学医学部附属病院多目的室

この研修は滋賀県助産師キャリア形成支援事業のうち、新人助産師の卒後教育の一環として主催され、今回、第 1 回が開催されました。

今年度の参加者は 16 名です。午前中は開講式に続き、「どんな助産師になりたいか?」というテーマでグループワークを行い、午後からは新生児蘇生法について学びました。

助産師になって早 3 か月を過ぎ、笑いの中にも真剣なまなざしで受講されている参加者が印象的でした。

(委員 吉岡千晴)

近畿ブロック助産師職能主催

「ALL JAPAN助産師の

クリニカルラダー認証（仮）

助産師教育に関わる管理者への支援」

平成 26 年 7 月 26 日（土）

大阪府看護協会 レモンホール

福井トシ子常任理事より、助産師クリニカルラダー（ラダー）とは、ラダーの開発経緯、ラダーの構造、教育プログラムの作成と研修内容、ポートフォリオの作成と活用、評価方法のポイントについての説明があり、これからのラダー推進にあたっての具体的なイメージができました。

次に申請に向けてのレベルⅢの教育、到達要件、評価、認証制度のしくみ・流れについて説明がありました。クリニカルラダー認証制度とはラダーのレベルⅢに至っていることを審査し認証することである。認証機関は特定非営利活動法人 日本評価機構であり、流れは各施設の看護部長が承認後、日本助産評価機構に申請し、書類審査と客観的試験を受けて認証証が発行されるというしくみになっています。

この制度は助産師が妊産褥婦・新生児及びその家族に対し、良質で安全な助産とケアを提供できる実践能力を備えているのかを社会や組織が認めていくものであると学びました。

参加者からは教育内容や評価の方法、試験についてなど多くの質問や意見があり、申請に向けての意気込みを感じました。福井トシ子理事のパワーが全国の助産師パワーになっているようでした。次年度には多くの方が申請できるように県内で協力していきたいと思いました。

「助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）

活用ガイド」解説編 8月2日 完成配布へ

助産師ラダー・レベルⅢ認証に向けた内容を

Q&A 方式でわかりやすく解説。

[URL:http://www.nurse.or.jp/](http://www.nurse.or.jp/)

「助産実践能力強化とその体制整備」クリック

「平成 26 年度取り組み」内にあります。

（委員 岡本美佐江）

研修会のお知らせ

『近畿ブロック研修会

『目指そう！助産師のクリニカルラダーⅢ』

日時：平成 26 年 10 月 26 日（日）12:30～16:30

場所：佛教大学二条キャンパス（京都市）

費用：無料

参加条件：日本看護協会員 助産師

募集定員：200 名

（ラダーⅢ認証に必須の「フィジカルアセスメントに関する研修」が研修会内で開催されます）

『平成 26 年度滋賀県看護協会助産師職能委員会
新生児蘇生法 A コース講習会』

日時：平成 26 年 11 月 22 日（土）9:30～16:30

場所：大津赤十字病院

費用：5000 円

参加条件：滋賀県看護協会会員のみ（助産師優先）

募集定員：16 名（各施設 1 名程度）

衛星通信教育『助産師のキャリアパス・
クリニカルラダーの基礎的理解』

日時：平成 26 年 12 月 12 日（土）9:20～16:30

場所：滋賀県看護研修センター

費用：4000 円

募集定員：50 名

平成 26 年度『助産師職能集会・研修会』

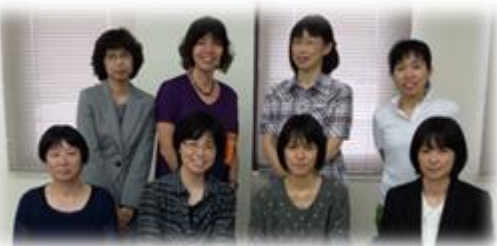
日時：平成 27 年 1 月 10 日（土）時間未定

場所：滋賀県看護研修センター

費用：研修のみ 未定



本年度の委員会のメンバー紹介



委員長	梅本 範子	（市立長浜病院）
委員	吉岡 千春	（高島市民病院）
委員	西村 さつき	（大津市民病院）
委員	山田 ゆかり	（滋賀医科大学附属病院）
委員	中村 美由紀	（野洲病院）
委員	岡本 美佐江	（大津赤十字病院）
委員	前川 孝枝	（長浜赤十字病院）
理事	木村 知子	（聖泉大学）

新しいメンバーを迎え、新たな気持ちで活動していきますので、ご協力をお願いいたします。（編集担当 中村 美由紀）